

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月04日

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全（防災・安全）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	御殿場市											
計画の目標	管渠施設については、ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋の更新を進め、御殿場浄化センターについては、ストックマネジメント計画に基づく機器の更新と施設の耐震化を一体的に進めることで、事故の未然防止を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,885	A	3,885	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値 (R7末)	最終目標値 (R9末)
1	R9までに、下水道ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の更新を行う。 下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋更新率 更新済個所数 / 更新を要する個所数	0%	60%	100%
2	R3末時点で御殿場浄化センターの耐震診断実施済の施設について、R9までに、耐震補強済施設の割合を70パーセントとする。 御殿場浄化センター内の耐震補強済施設の割合 耐震補強済施設数 / 耐震補強を要する施設数	10%	30%	70%
3	H30末時点で更新を要すると判定された御殿場浄化センターの施設のうち83%について、R9までに機器更新を行う。 下水道ストックマネジメント計画に基づく機器更新済施設の割合 機器更新済施設数 / 更新を要する施設数	0%	16%	83%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R05	R06	R07	R08	R09				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	管渠(汚水)	改築	下水道管渠ストックマネジメント事業	マンホール蓋更新 N=582箇所	御殿場市						245		策定済	
	下水道ストックマネジメント計画																			
	A07-002	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	改築	御殿場浄化センター耐震化事業	脱水機棟・水処理施設耐震化一式	御殿場市						560		-	
	下水道ストックマネジメント計画																			
	A07-003	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	改築	御殿場浄化センターストックマネジメント事業	汚泥脱水設備・水処理設備・自家発電設備更新 一式	御殿場市						3,080		-	
	下水道ストックマネジメント計画																			
											小計						3,885			
											合計						3,885			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	84				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	84				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	84				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全(防災・安全)		
計画の期間	令和5年度～令和9年度(5年間)	交付対象	御殿場市

A07-001 下水道管渠ストックマネジメント事業

A07-002 御殿場浄化センター耐震化事業  
A07-003 御殿場浄化センターストックマネジメント事業

